

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第 1 4 期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第 1 号議案「第 14 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 15 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第 3 号議案「役員の変更に関する事項」

第 4 号議案「定款の変更に関する事項」

【3】報告事項

日 時： 2018 年 5 月 28 日（月） 13:30～

場 所： 中央大学駿河台記念館 285 号室



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 吉田治典
副理事長 赤司泰義、柳原隆司、山羽 基
理事 大森一郎、岡 敦郎、岡本利之、鯉淵 正、須山喜美、高瀬知章、松下直幹、吉田新一
監事 高草 智、高橋直樹

会員数 (2018年3月31日現在)

個人正会員 215名 (内 特別会員 6名)
賛助会員 40団体 (内 大学 6校)

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、
広報活動、会員増強等
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：資格制度検討、資格研修会・講習会運営、資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的コミッショニング事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、コミッショニングプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2018年3月31日現在)

財団法人

建築技術教育普及センター、ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、アレフネット、エネゲート、エム・ティー・ディー、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、三機工業、三建設備工業、三晃空調、
JR 東日本ビルテック、新日本空調、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電力、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、東邦ガス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、三菱地所設計、三菱重工サーマルシステムズ* (五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

官公庁

神奈川県立近代美術館*

*：新規会員を示す。

【2】議事資料

第1号議案「第14期事業報告及び収支決算に関する事項」

事業報告(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

1. 事業の成果

人材育成事業として、毎年開催している性能検証技術者(CxPE)の資格研修会を東京で開催し、12名の受講者全員が資格試験に合格した。これで、現在、CxPEの総計は93人となった。性能検証専門技術者(CxTE)の講習は、昨年10月に大阪で、11月に東京で、さらに四国・高松でも本年1月に開催した。これらには、会員外の受講者も含めて合計46名(関西17名、東京15名、四国13名)が受講し、該当者にはCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録制度には、現在66名の登録がなされている。一昨年5月に開始したコミッショニングを業務として実施する組織(CxF: Commissioning Firm)の登録制度には現在8社の登録で昨年と同数である。

性能検証普及事業としては、昨年11月に「コミッショニング研究会 in 中部」を、本年1月と3月には、それぞれ高松と大阪でCx事例シンポジウムを開催した。シンポジウムでは、当協会が直接、間接に関与した特色のあるコミッショニングの事例紹介を中心に事例を紹介し、Cxの必要性、あり方、将来性、課題などについて討議した。また、昨年10月に空気調和・衛生工学会100周年記念事業と連携し東京で共催シンポジウムを開催した。また、本年2月には空気調和・衛生工学会九州支部と連携し福岡で共催シンポジウムを、更に本年3月には建築設備技術者協会との協賛事業として新ビジネスの報告会を東京で開催した。特に東京、大阪、四国、福岡のシンポジウムでは、オーナーが中心になってコミッショニングの効用が解説され、コミッショニングの推進に向けて新しい方向性が示された。昨年9月には例年通り空気調和・衛生工学会大会(高知工科大学)の展示ブースへの出展を行い、当協会会員や関連学協会会員・一般市民を対象として、コミッショニングプロセスおよびコミッショニング技術の普及広報活動を実施した。昨年10月には日本建築学会主催の第13回建築設備シンポジウム「環境建築で切り開く設計と研究のこれから part2」を後援した。高槻市と大阪大学施設部からの依頼によりコミッショニングの有用性について解説する講習を実施した。

会員への情報伝達に関しては、例年通りニュースレターを月1回発行した。また、ホームページを活用して積極的に情報発信するため、その機能や構成を充実し、ユーザー視点に立って見やすさを改善した。

当協会の基盤拡充と社会活動充実のため賛助会員の増加に努めた。昨年度は、新規の個人会員が12名、賛助会員には新たに1団体(神奈川県立近代美術館)が加わった。

普及活動としては、一昨年から始まった経済産業省のいわゆる省エネ補助金におけるコミッショニングの導入による省エネ事業が昨年度も継続され、当協会の事業がその事業のヒアリングに協力した。

調査研究・技術支援事業としては、例年通り、空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と連携しコミッショニング技術の整備に貢献した。

基準制定・検証事業としては、昨年12月にCx費用ガイドライン検討WGを立上げ、当協会としてコミッショニング事業のフィーに関するガイドラインを公表すべく活動を開始した。建築設備コミッショニングマニュアルの販売は順調に推移し20部を販売した。先導的なコミッショニング事業の受託として、京都駅ビルの熱源・空調システム改修工事の機能性能試験確認フェーズIを終え報告書を提出した。引き継ぎ、フェーズIIとして適正化業務を受託し遂行中である。さらに2次側空調システムの改修に向けて既存設備の調査フェーズのコミッショニング事業を受託し報告書を提出した。神奈川近代美術館葉山館の既存ビルコミッショニング事業を受託し調査と改善提案作業を実施し報告書を提出した。高砂熱学工業の(仮称)TNKイノベーションセンター新築工事の基本・実施設計のコミッショニング業務を受託し基本設計フェーズを終えて報告書を提出した。実施設計フェーズは継続中である。

事務局WGでは、引き続き事務局体制の整備をおこない事務処理を順次マニュアル化し事務作業の基盤整備と合理化を継続して進めた。

2. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）			
						収入	支出		
(1) 人材育成事業	(1) セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	2,704,012	2,844,135		
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。								
	a)	CxPE 資格研修会	2017/12/15 ～12/16	中央大学 駿河台記念館				10名	12名
	b)	CxTE 講習（関西）	2017/10/27	堂島リバー フォーラム				10名	18名
		CxTE 講習（東京）	2017/11/10	中央大学 駿河台記念館				7名	15名
		CxTE 講習（四国）	2018/1/16	四国電力総合研修所				5名	13名
	c)	認証検討委員会及び 資格判定委員会活動	2017/4 ～2018/3	BSCA 事務所他				10名	—
	d)	Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会 （関西・中部・四国）	2017/11/9	中部大学 三浦記念会館				2名	7名
			2018/1/16	四国電力㈱ 総合研修所				5名	38名
			2018/3/9	大阪大学中之島 センター・佐治敬三 メモリアルホール				9名	63名
		空気調和・衛生工学会 100周年記念事業 共催シンポジウム	2018/10/30	NSRI ホール				10名	79名
		空気調和・衛生工学会 九州支部との 共催講習会	2018/2/21	電気ビル共創館				7名	96名
		建築設備技術者協会との 協賛	2018/3/19	連合会館				6名	45名
	e)	総会付帯講演会	2017/5/10	中央大学 駿河台記念館				10名	45名
f)	技術交流会	2017/5/10	中央大学 駿河台記念館	10名	40名				
g)	Cx に関心を持つ者の 集い	2017/9/14	高知県高知市	5名	46名				
h)	Cx マニュアル(CD) の頒布	2017/4 ～2018/3	BSCA 事務所	3名	8名 9団体				
(2) 性能検証普及事業	(2) 会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	822,384		
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。								
	a)	ホームページの 整備充実	2017/4 ～2018/3	事務局				4名	約1000名
	b)	コミッションング レターの発行	2017/4 ～2018/3	事務局				30名	約170名
	c)	空気調和・衛生工学会 大会ブース出展	2017/9/13 ～9/15	高知工科大学				5名	約100名
	d)	コミッションング の有用性に関する 解説活動	2017/4 ～2018/3	高槻市				2名	30名
				大阪大学				2名	30名
e)	企画・運営委員会 活動	2017/4 ～2018/3	BSCA 事務所他	23名	—				

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）		
						収入	支出	
(3) 調査研究・技術支援事業	(3) 性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	0	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。 公共的機関より性能検証、コミッショニング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。							
	a)	海外調査	2017/4 ～2018/3	BSCA 事務所他	1名			会員、市民、建築関係者、不特定
	b)	技術委員会活動	2017/4 ～2018/3	東京	5名			
(4) 基準制定・検証事業	(4) 性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	29,820,420	25,163,050	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。							
	a)	建築設備性能検証マニュアル校正WG	—	東京				—
	b)	Cx費用ガイドライン検討WG	2017/12 ～2019/5	東京				12名
	c)	京都駅ビル熱源・空調改修工事新築Cx業務（機能性能確認・適正化フェーズⅠ）	2016/8 ～2017/10	BSCA事務所、京都駅ビル他				12名
	d)	京都駅ビル熱源・空調改修工事新築Cx業務（機能性能確認・適正化フェーズⅡ）	2017/12 ～2019/12	BSCA事務所、京都駅ビル他				12名
	e)	京都駅ビル二次側空調設備既存Cx業務（調査フェーズ）	2018/2 ～2018/3	BSCA事務所、京都駅ビル他				7名
	f)	神奈川県立近代美術館葉山館の空調熱源システムに関する既存Cx業務	2017/1 ～2017/5	神奈川県立近代美術館葉山館他				3名
	g)	（仮称）TNKイノベーションセンター新築工事Cx業務	2017/10 ～2018/5	BSCA事務所、TKNイノベーションセンター				4名
h)	事業委員会活動	2017/4 ～2018/3	BSCA事務所他	12名				

(2) その他の事業（営利事業）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）	
						収入	支出
(1) 会誌・ ホームページ等への 広告掲載	会誌やホームページへの 広告の募集を企画	2017/4/1～ 2018/3/31	事務局	2名	会員、 市民、 建築 関係者、 不特定	0	0
(2) 出版 事業	出版物の発刊を企画	2017/4/1～ 2018/3/31	事務局	1名	会員、 市民、 建築 関係者、 不特定	0	0

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

2009年より開始しているCxPEの資格認証を、昨年度から資格試験制度・登録制度に改め、2017年12月15日～16日に東京にて開催し、受講者12名全員を修了試験合格と判定した。新規受講者が11名、過年度合格者1名が登録をしてCxPE登録者は総計93名となった。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（関西、東京、四国）

2017年度で6回目となる講習会を、10月に関西（受講者17名）、11月に東京（受講者：15名）、また2018年1月に四国では初めてとなるCxTE講習会を高松（受講者13名）で開催した。合計45名にCxTE講習の修了証を授与した。また、2017年度に新たにCxTE登録された会員は6名、累計で66名となった。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

- ・ 第6回目となるCxTE（性能検証専門技術者）講習会を10月に関西で受講者17名、11月に東京で受講者15名、1月に四国で受講者13名にて行い、受講者全員に修了証を発行した。CxTE（性能検証専門技術者）登録制度における新たな登録者は6名で、累計で66名となった。（CxTE講習小委員会）
- ・ CxF（コミッショニング事業者）の認証登録は8社となっている。（CxF登録小委員会）

2) 資格判定委員会

- ・ 2017年12月15～16日にCxPE研修会を実施した。実施に当たり、資格研修小委員会のメンバーが研修の体制や内容及び試験問題を決定し資料の作成を行なった。
- ・ 研修会終了後は、CxPE資格研修小委員会を開催し、採点を行なった。
- ・ CxPEについては、2018年3月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2017年度のCxPEの合否判定を行なった。

d) Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会の開催、他団体との共催シンポジウム

1) コミッショニング研究会 (中部)

山羽副理事長を講師として中部大学三浦記念会館にて 2017 年 11 月 9 日に「コミッショニングプロセスでの情報の共有について」と題し、BIM に関する海外視察の情報提供をした。米国シカゴとニューヨークにある大手設計事務所の 3 社の内容が紹介された。海外と日本との違いや課題などを、第 1 回、2 回と同様に少人数の会議形式で行い、活発な議論を行った。

2) Cx 事例紹介シンポジウム (四国)

中四国地域において Cx の普及を図ることを目的とし、Cx 事例紹介シンポジウムを 2018 年 1 月 16 日に四国電力総合研修所において開催した。新マニュアルに準拠した形で進めている「京都駅ビルにおける熱源・空調改修工事」の具体的な実施事例をもとに、Cx の意義やプロセスについて OPR、設計主旨文書、特記仕様書 (Cx) などの実際に使用された資料等を参考にしながら解説を行った。併せて、発注者からみた Cx のメリットや課題についても『生の声』を聞くことができ、中四国においてコミッショニングを学ぶ良い機会となったと評価された。本シンポジウムの参加者は、38 名であった。

3) Cx 事例紹介シンポジウム (関西)

～オーナーが語る Cx の有用性と課題～

BSCA は、コミッショニング業務として実際に発注されたプロジェクトを紹介するシンポジウムを毎年行っており、2017 年度も 2018 年 3 月 9 日に、大阪大学中之島センター・佐治敬三メモリアルホールで開催した (参加者 63 人)。今回のシンポジウムでは、Cx の ISO 規格化の状況についての最新の情報の紹介に続き、本シンポジウムの主題である Cx を発注されたオーナーの方々の経験に基づいた Cx の有用性や課題などについて発表が行われた。実際にコミッショニングを発注されたオーナーの方 (京都駅ビル、ソニー、長崎県、沖縄科学技術大学院大学とそれぞれ異なる建物用途のオーナー) が、発注者の目線で有用性や課題について発表した。

4) 空気調和・衛生工学会 100 周年記念事業共催シンポジウム (東京)

～ビジネスとしてのコミッショニング普及に向けて オーナーが語る Cx の有用性と課題～

2017 年 10 月 30 日に NSRI ホール (東京・飯田橋) で、空気調和・衛生工学会コミッショニング委員会 (委員長: 東京大学 教授 赤司泰義氏) 主催、BSCA 協賛のシンポジウムを開催した (参加者: 79 名)。本シンポジウムは、コミッショニングに関する ISO 規格化の進捗状況や行政の取り組み・期待について、経済産業省、国土交通省、東京都の方からの情報提供を受けた後に、実際にコミッショニングを発注された 4 事例 (4 事例中 2 件は BSCA の受託 Cx 事業) のオーナーの方に、それぞれの経験に基づいた Cx の有用性や課題などを語ってもらい、今後のビジネスとしてのコミッショニングの普及について参加者と意見交換を行った。

5) 空気調和・衛生工学会九州支部との共催講習会

～九州におけるコミッショニングの拡がり～

本講習会は、空気調和・衛生工学会九州支部が主催し、建築設備コミッショニング協会、および建築設備技術者協会九州支部が共催して実施した。近年、九州においてもコミッショニングの取り組みが拡がりつつあり、本講習会では、長崎県庁の新庁舎における設計のコミッショニング、佐賀県医療センター好生館における運用段階のコミッショニング、沖縄科学技術大学院大学における既存建物のコミッショニングを紹介した。また、今後の九州での活動の拡がりについて活発に議論を行った。

6) 建築設備技術者協会との協賛

～建築設備運用の最適化に向けた 建築設備技術者の新たな業務展開に関する調査報告会～

本調査報告会は、建築設備技術者協会が主催し、建築設備コミッションング協会も協賛して実施した。建築設備は運用して初めてその機能を発揮するが、現状では建築設備技術者が運用に係わる機会が少ないため、最適な運用がなされず、同じ失敗を繰り返すことも多い。運用時に設備の真価を発揮させるために建築設備技術者は今後何をすればよいのかを、報告会では様々な角度からこの問題を検討した成果が報告された。

e) 総会付帯行事を兼ねた講演会（東京）

中央大学駿河台記念館において、通常総会を開催するとともに講演会を実施した（参加者 45 名）。講演では、芝浦工業大学 建築学部 建築工学科 教授 秋元孝之氏に「ZEB/ZEH の関連動向」、東京都 環境局 地球環境エネルギー部 課長代理（テナント対策担当）大場教司氏に「東京都キャップ&トレード制度のトップレベル事業所におけるコミッションング」と題してご講演頂いた。なお講演資料は、会員のみでの公開とし、当協会ホームページに掲載した。

f) 技術交流会

総会に引き続き、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した（参加者 40 名）。来賓の一般社団法人公共建築協会 時田繁常務理事の乾杯や中原名誉理事長の挨拶の他、新 CxPE からは各自の抱負表明等も行われ、終始和やかに会員間で情報交流や交歓が図られた。

g) Cx に関心を持つ者の集い

空気調和・衛生工学会大会の二日目（9 月 14 日）夕方、恒例の「コミッションングに関心を持つ者の集い」を高知市「一旬（いっしゅん）」にて開催した。16 回を迎える今回、46 名の参加者の下、コミッションングの昨今や将来が語られ参加者間の情報交換が図られた。

h) Cx マニュアル（CD）の頒布

新マニュアルは改訂後合計で 60 部、今年度は 20 部頒布した。

(2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

a) ホームページの整備充実

2017 年度も継続して当協会のホームページを制作している会社と年間保守契約を結び、年 2 回の画面修正、Cx 事例ページの追加やセキュリティー対応などを依頼しホームページの改善と維持に努めた。

BSCA の最新のイベント情報はどこを見たらよいのか、CxF 登録組織・CxPE 資格者・CxTE 登録者のリストの掲載箇所がわからないので教えて欲しいという質問を多く受けたため、これらの表示方法をわかりやすく修正した。

発注者の声というページを作成し、BSCA の受託 Cx プロジェクトのオーナーの方に Cx の有用性と課題などについて執筆して頂いた文章をホームページに掲載した。

b) コミッシュヨニングレターの発行

コミッシュヨニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月 1 回の発行を継続した。昨年度も、毎月 1 日に計 12 回の発行を行った。CxPE よりの自由投稿も継続した。コミッシュヨニングに関わる有益な情報も会員に提供した。BSCA 主催の研修会等の事業の担当者から、会告としてレターに掲載するとともに、報告を行った。また、昨年度、当教会からも告知した新長崎県庁舎機能性能試験実施業務の発注についての長崎県庁の報告、空気調和・衛生工学会より発刊された「建築設備の試運転調整ガイドライン」発行のお知らせ、東京都からの情報提供として「テナント省エネセミナー」及び「トップレベル事業所フォーラム」のお知らせなどコミッシュヨニングにかかわる諸情報を会員に提供した。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

2017 年 9 月の空気調和・衛生工学会高知大会における展示会でブースを設け、例年どおり、本協会の概要・活動の紹介を最新情報に更新したタペストリーを展示した。このタペストリーは、CxTE 講習会などでも掲示に活用した。

d) コミッシュヨニングの有用性に関する解説活動

高槻市と大阪大学施設部からの依頼によりコミッシュヨニングの有用性について解説する講習を実施した。

e) 企画・運営委員会活動

委員会を年 5 回開催し、下記活動の実施内容について審議し運営を行った。

1) 広報活動

1-1) HP 広報WG

- ・ 協会のホームページ作成会社との年間保守契約を継続し、ホームページの維持管理を行った。
- ・ BSCA が行うイベント・講習会情報をよりわかりやすく見られるようにするため、トップページに最新のイベント情報を表記するとともに、新たに開催前のイベントだけを載せたページを作成した。
- ・ 発注者の声というページを新たに作成し、BSCA にコミッシュヨニングの業務発注をされたオーナーに Cx に関する有用性や課題についての寄稿を掲載した。
- ・ CxPE 資格者、Cx F 登録組織、CxTE 登録者の情報を閲覧しやすいようにした。

1-2) レター広報WG

- ・ コミッシュヨニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月 1 回の発行を継続した。昨年度も、毎月 1 日に計 12 回の発行を行った。

2) 会員獲得活動

- ・ 個人会員数の増強に努めた。12 名の新規入会者があり会員数は 215 名となった。
- ・ 各種団体にコミッシュヨニングの意義を理解して貰うよう賛助会員の獲得に努め、積極的に広報活動を展開した。賛助会員については神奈川県立近代美術館の入会があった。

3) コミッシュヨニング事業者 (Cx F) 登録制度の運用

- ・ Cx F の登録制度を継続して運用した。

4) 講習会・セミナー事業

- ・ 前掲、(1) 人材育成事業、d) Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会・共催シンポジウム・協賛シンポジウムを参照。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査

- ・ 2018年1月のASHRAE冬季大会(米国 シカゴ)に併催されたAHR Expo. 2018にて、ACG (AABC COMMISSIONING GROUP) にBSCAの紹介をした。また、双方の資格交流の可能性などを前向きに意見交換した。さらに、同団体のコミッショニングガイドラインを入手した。

b) 技術委員会

- ・ ダイキン工業とビル用マルチ型空調システムのコミッショニングについて計5回の意見交換会を行った。これらの議論を経て空気調和・衛生工学会において「CC法を活用したEHP式個別分散空調システムの機能性能試験検討小委員会」が立ち上がった。

(4) 基準制定・検証事業

14期は官民共にコミッショニングを事業として発注する事例が増えた。こうした動きがあるので、コミッショニング費用のガイドラインを策定し、適正な事業化が発展するようにWGを立ち上げた。また、既存建物の熱源・空調システムの大改修工事のコミッショニング1件、既存ビル空調システムの省エネルギー改修のコミッショニング事業を2件(内1件は来期に延期)、ならびに新築物件のコミッショニング事業を1件を先導的なCx事業として受託し、これらの実践を通して得られる課題を抽出すると共に、得られたノウハウを蓄積し公開し、コミッショニングを通して社会貢献と社会還元を図ることを目指した。

a) 建築設備性能検証マニュアル校正WG

特になし。

b) Cx費用ガイドライン検討WG

経済産業省の補助事業採択の加点要素への組み込みや長崎県による機能性能試験業務発注などがあったため、コミッショニングに関心を持つ建物オーナーが増加している。しかし、一方では、コミッショニング業務の費用が未知なため発注しにくいという状況がある。そこで、発注者がコミッショニング業務の予算化をする上で参考となる当協会としてのCx費用ガイドラインを作成するためのWGを立ち上げた。

・活動期間：2017年12月20日～2019年5月31日

・成果品：Cx費用ガイドライン

・委員構成 12名で構成する

主査：湯澤秀樹 (CxF) 幹事：田上賢一 (CxF)

委員：CxF 6名、BSCA 4名

c) 京都駅ビル熱源・空調改修工事新築 Cx 業務（機能性能確認・適正化フェーズ I）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2016年9月～2017年10月(今年度実施期間 2017年4月～2017年10月)
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、青山昌博、西山満

2016年9月から始まった機能性能確認・適正化フェーズの Cx 業務を 2017年10月まで行った。この時点で、OPR で示した熱源システムの一次エネルギー換算消費量 60%削減に対して、竣工後1年目の段階で 56.4%の削減を達成できた。

d) 京都駅ビル熱源・空調改修工事新築 Cx 業務（機能性能確認・適正化フェーズ II）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2017年12月～2019年12月(今年度実施期間 2017年12月～2018年3月)
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、青山昌博、西山満

c)の「機能性能確認・適正化フェーズ」に引き続き、2017年12月から2年間の期間で「機能性能確認・適正化フェーズ II」を行う。本フェーズは、機能性能確認・適正化フェーズ I で残された課題を解決するとともに、より高度に適正化し、OPR の目標値を超える削減を目指した活動を行っている。2018年3月時点で、1年目の同時期よりも削減率が3%向上した。また、本フェーズで新築コミショニングは終了するが、その後も運転・管理者が、継続して適正な設備運用・管理が行えるように、引継ぎ文書等の整備も本フェーズの業務範囲として進めている。

e) 京都駅ビル二次側空調設備 既存 Cx 業務（調査フェーズ）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2018年2月～2018年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、西山満

京都駅ビルの熱源空調改修工事に続き、二次側空調改修の基本設計を行う前に、既存コミショニングの調査フェーズという位置づけで、約2か月間のコミショニング業務を行った。具体的には、BEMS データの分析やテンポラリ計測、各テナントの設備担当者とのヒアリングを実施し、その結果を基に主に省エネルギーの観点で既存の空調設備の課題と改善点を明確にした。

f) 神奈川県立近代美術館葉山館の空調熱源システムに関する既存 Cx 業務

- ・ 委託機関：株式会社モマ神奈川パートナーズ（SPC）
- ・ 事業実施：2017年1月～2017年5月
- ・ 担当者：吉田新一（CA）、岡敦郎、須山喜美（幹事）

神奈川県立近代美術館葉山館は、神奈川県教育文化施設に関する PFI 事業として、SPC により運営されている施設である。SPC 運営期間のほぼ途中で、数年後には設備機器の大規模改修が予定されている。この際の改修計画の立案に向けて、既存の空調・熱源設備システムに関するコミショニング（調査フェーズ初期）を実施した。十分な既存データが無い中、コミショニング会議は5回、現地調査は簡易な踏査を含めて3回実施し、3段階の改修程度の異なる改修案を示した。なお、業務は終了したが、今後の改修計画立案に向けて随時情報提供を実施している。

g) (仮称) TNK イノベーションセンター新築工事 Cx 業務

- ・ 委託機関：高砂熱学工業株式会社
- ・ 事業実施：2017年10月～2018年5月
- ・ 担当者 赤司泰義 (CA)、岡敦郎 (幹事)、吉田治典、柳原隆司

ZEBの実現を目指した研究施設の新築工事のCx業務で、基本設計・実施設計が対象範囲である。基本設計の担当は三菱地所設計で、12月までに4回のWG会議を行ってOPRの取り纏めを支援するとともに、3月末までに4回のCMT会議を開催して設計レビューを行なった。基本設計は3月に完了し、現在、実施設計段階の設計レビューを継続中である。

実施設計の完了時期は、6月末の予定である。

h) 事業委員会

- ・ 新規の先導的コミッショニング事業対応のための事前打合せ、調査を実施した。

(5) 理事会

- ・ 理事会を4回(うち電磁的方法による開催2回)開催し、総会付議事項、新規プロジェクトの受注についての手順、プロジェクト契約等を審議し決定した。

4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2017年度 活動予算執行状況報告

建築設備コミッションング協会

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：円)

科目	2017年度決算		2017年度 予算			備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
I 経常収益						
1 受取会費						
入会金収入	60,000		100,000	0	-40,000	
正会員受取会費	2,075,000		2,150,000	0	-75,000	
賛助会員受取会費	5,900,000		6,000,000	0	-100,000	
小計	8,035,000		8,250,000	0	-215,000	
2 受取寄附金						
受取寄附金	0		0	0	0	
小計	0		0	0	0	
3 受取助成金等						
受取民間助成金	0		0	0	0	
小計	0		0	0	0	
4 事業収益						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	800,000		640,000	0	160,000	
CxTE研修会(東京)	257,000		540,000	0	-283,000	
CxTE研修会(関西)	335,000		352,000	0	-17,000	
CxTE研修会(四国)	195,000		0	0	195,000	シンポジウム(四国)より項目分離
Cx事例シンポジウム(東京)	0		380,000	0	-380,000	空衛学会で開催のため開催せず
Cx事例シンポジウム(関西)	339,000		390,000	0	-51,000	
Cx事例シンポジウム(中部)	7,000		30,000	0	-23,000	
Cx事例シンポジウム(四国)	42,000		250,000	0	-208,000	CxTE(四国)に項目分離
マニュアルの頒布	352,512		200,000	0	152,512	
資料販売	4,000		0	0	4,000	シンポジウムの資料販売
技術交流会	150,000		150,000	0	0	
Cx 集い	222,500		200,000	0	22,500	
	2,704,012		3,132,000	0	-427,988	
2. 普及事業	0		0	0	0	
3. 研究・支援事業	0		0	0	0	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx事業(機能)	13,857,480		12,831,000	0	1,026,480	
京都駅ビルCx事業(機能II)	6,093,360		10,000,000	0	-3,906,640	
京都駅ビルCx事業(二次側)	6,104,700		0	0	6,104,700	
沖縄科技大Cx事業	0		7,500,000	0	-7,500,000	今年度は実施せず
神奈川県立近代美術館	3,764,880		3,764,880	0	0	
TNKテクノロジーセンター	0		0	0	0	翌年度に入金予定
	29,820,420		34,095,880	0	-4,275,460	
5. その他	0		0	300,000	-300,000	
小計	32,524,432		37,227,880	300,000	-5,003,448	
5 その他収益						
受取利息	311		5,000	0	-4,689	
雑収益	0		10,000	0	-10,000	
小計	311		15,000	0	-14,689	
経常収益計	40,559,743		45,492,880	300,000	-4,933,137	

重要な会計重要な方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法：定率法によっております。

無形固定資産の減価償却方法：定額法によっております。

(2) 消費税等の処理方法

税込経理によっております。

科目	2017年度予算執行状況	2017年度 予算			備考欄
		特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
II 経常費用					
1 事業費					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	545,659	720,000	0	-174,341	
CxTE研修会(東京)	232,758	760,000	0	-527,242	
CxTE研修会(関西)	579,196	660,000	0	-80,804	テキスト改訂業務を大阪で計上
CxTE研修会(四国)	167,073	0	0	167,073	シンポジウム(四国)より項目分離
Cx事例シンポジウム(東京)	0	295,000	0	-295,000	空衛学会で開催のため開催せず
Cx事例シンポジウム(関西)	462,402	370,000	0	92,402	
Cx事例シンポジウム(中部)	1,927	22,000	0	-20,073	
Cx事例シンポジウム(四国)	61,166	250,000	0	-188,834	CxTE(四国)に項目分離
学会共催講習会(九州)	84,468	0	0	84,468	
総会付帯講演会	66,853	25,000	0	41,853	
技術交流会	250,390	230,000	0	20,390	
Cx 集い	210,000	200,000	0	10,000	
資格判定委員会	121,240	200,000	0	-78,760	
マニュアル頒布	61,003	30,000	0	31,003	
小計	2,844,135	3,762,000	0	-917,865	
2. 普及事業					
ホームページ	401,976	2,090,000	0	-1,688,024	
コミッションングレターの発行	127,016	200,000	0	-72,984	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	173,394	180,000	0	-6,606	
CxF登録制度小委員会	0	100,000	0	-100,000	
企画・運営委員会及び広報担当	119,998	310,000	0	-190,002	
小計	822,384	2,880,000	0	-2,057,616	
3. 研究・支援事業					
海外調査	0	105,000	0	-105,000	
技術委員会	0	200,000	0	-200,000	
小計	0	305,000	0	-305,000	
4. 基準制定事業					
京都駅ビルCx事業(機能)	12,941,650	11,431,000	0	1,510,650	
京都駅ビルCx事業(機能II)	3,885,248	9,020,000	0	-5,134,752	
京都駅ビルCx事業(二次側)	3,020,492	0	0	3,020,492	
沖縄科技大Cx事業	0	6,375,000	0	-6,375,000	
神奈川県立近代美術館Cx	3,198,010	3,046,000	0	152,010	
TNKイノベーションセンター	1,944,544	0	0	1,944,544	
事業委員会	173,106	50,000	0	123,106	
マニュアル改訂	0	800,000	0	-800,000	
小計	25,163,050	30,722,000	0	-5,558,950	
5. その他	0	100,000	150,000	-150,000	
事業費計	28,829,569	37,769,000	150,000	28,679,569	

科目	2017年度予算執行状況		2017年度 予算			備考欄
			特定非営利活動事業	その他の事業	増減額	
2 管理費						
旅費交通費	482,780		240,000	0	242,780	
通信運搬費	182,547		182,000	0	547	
消耗品費	139,577		260,000	0	-120,423	
消耗什器備品	508,983		0	0	508,983	PC, 風速計, タペストリスタント
会議費	202,680		254,500	0	-51,820	
印刷製本費	97,264		70,000	0	27,264	
租税公課	461,900		440,000	0	21,900	
支払手数料	43,410		70,000	0	-26,590	
雑費	0		0	0	0	
雑給	5,000		0	0	5,000	
諸会費	313,149		200,000	0	113,149	空衛学会100周年等
家賃	395,280		400,000	0	-4,720	
修繕費	0		0	0	0	
予備費	0		0	0	0	
支払報酬	431,400		420,000	0	11,400	
事務外注費	3,888,000		3,888,000	0	0	
事務管理費	180,000		0	0	180,000	事務局WG費用
減価償却費	357,122		355,000	0	2,122	
管理費計	7,689,092		6,779,500	0	909,592	
経常費用計	36,518,661		44,548,500	150,000	-8,029,839	
当期経常増減額	4,041,082		944,380	150,000	3,096,702	
III 経常外収益						
1 固定資産売却益	0		0	0	0	
経常外収益計	0		0	0	0	
IV 経常外費用						
1 過年度損益修正損	0		0	0	0	
2 固定資産除却損	27,860		0	0	27,860	PC1台廃棄
経常外費用計	27,860		0	0	27,860	
税引前当期正味財産増減額	4,041,082		944,380	150,000	3,096,702	
法人税、住民税及び事業税	70,000		71,000	0	-1,000	
当期正味財産増減額	3,943,222		873,380	0	3,069,842	
前期繰越正味財産額	41,246,210		35,354,000	1,001	5,892,210	
次期繰越正味財産額	45,189,432		36,298,380	151,001	8,891,052	

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

2017年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2018年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	34,356,116		
売掛金／未収金	12,198,060		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	157,680		
仮払金	0		
流動資産合計		46,711,856	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	25,110		
有形固定資産計	25,110		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	608,304		
無形固定資産計	608,304		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		813,414	
資産合計			47,525,270
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,015,076		
前受会費	20,000		
預り金	300,762		
仮受金	0		
流動負債合計		2,335,838	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			2,335,838
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		41,246,210	
税引後当期正味財産増減額		3,943,222	
正味財産合計			45,189,432
負債及び正味財産合計			47,525,270

2017年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2018年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額			備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
手元現金	0			
三菱東京UFJ銀行普通預金	1,683			
三菱東京UFJ銀行普通預金	9,321,445			
ゆうちょ銀行普通預金	770,472			
三井住友銀行	4,525,861			
池田泉州銀行	19,736,655			
現預金計	34,356,116			
未収金				
売掛金/未収金	12,198,060			
貯蔵品	0			
棚卸資産				
未収金計	12,198,060			
前払費用	157,680			
前払費用計	157,680			
仮払金	0			
仮払金計	0			
流動資産合計		46,711,856		
2. 固定資産				
(1) 有形固定資産				
什器備品	25,110			
有形固定資産計	25,110			PC 1 台
(2) 無形固定資産				
ソフトウェアなど	608,304			
無形固定資産計	608,304			ホームページ
(3) 投資その他の資産				
敷金	0			
保証金	180,000			
投資その他の資産計	180,000			ATC保証金
固定資産合計		813,414		
資産合計			47,525,270	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	2,015,076			
前受会費	20,000			
預り金				
源泉所得税預り金	300,762			
仮受金	0			
流動負債合計		2,335,838		
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0		
負債合計			2,335,838	
正味財産			45,189,432	

5. 監査報告

2017年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッション協会の事業報告、活動計算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2018年4月18日

監 事

高草 智

高橋 直樹

第2号議案「第15期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2018年度事業計画(案) (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

2018年度は、下記の活動を行い、会員と社会に対してコミショニングの意義を更に広め、かつ賛助会員組織には、コミショニング事業を推進するための情報提供をして社会に貢献する。

企画・運営委員会では、当協会に関わる種々の課題を議論し、事務処理の合理化などを掌握し、収支バランスを勘案しながら当協会の運営の要となる活動を行う。本年は、3年目となる事務作業の基盤整備作業の終結を目指す。またクラウドサーバを利用し、委員会、シンポジウムなどの関連業務にITを用いた効率化を推進する。

性能検証普及事業として、民間会社・官庁・大学などのビルオーナー、ならびに設計者団体、施工者団体などと懇談してコミショニングの意義を説明し、よりコミショニングが進展するための方策について意見交換する。国交省からの要請を受け、機能性能試験の前提となる試運転調整のあり方や課題について検討する研究開発プロジェクトに委員を派遣する。コミショニング費用のガイドラインを策定し次年度早々に公開するべく活動する。社会に対して先導となるコミショニング事業を受託し、その有効性を様々な手法で社会に広めながら、課題の抽出、技術の開発に努め、成果を公表して社会に還元する。

資格・登録関連の関連委員会では、CxPE資格登録者数はかなり充実しているので研修会の隔年開催も視野にいたした運営方法を検討する。東京・関西ではCxTE登録のための講習受講者もかなり多くなったので、本年は北海道、九州など、今までに開催していない地域で開催し技術者養成を全国に展開する。

技術委員会は、例年通り空気調和・衛生工学会のコミショニング委員会との連携を推進するが、別途、若手研究者を交えて新たなテーマでの研究会立上げを模索する。コミショニングツールのホームページによるダウンロード事業も更に充実するよう努める。

広報担当は、例年通り、会員サービスと社会啓発のため、ホームページ、ニュースレターを充実し、ウェブベースの発信に集約して一元化してゆく。

種々の運営ならびにシンポジウムなどの交流活動を支部活動的に東京、関西、中部で独自に実施することは定着しつつある。本年度もこれを更に進めて、コミショニング活動の輪をこれら3極で協力して広め、日本全体の、また国際的な、情報発信と交流を図る。また、空気調和・衛生工学会などの協賛などを通じて、昨年度開催したように3極以外の地域へも本協会の活動を広めるべく、他都市でのシンポジウムを企画することを検討する。国際交流として、全米コミショニング協会(NCBC)大会へ複数名を派遣し、当協会との状況と日本のコミショニング業務の成果を報告し、交流を図るためのミッションを企画する。

理事会を活性化するため各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり推進し、企画・運営委員会を通して実施するようなガバナンス体制へと変革する。

2. 事業実施計画に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）		
						収入	支出	
(1) 人材育成事業	(1) セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	2,862,000	2,827,000	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。							
	a)	CxPE 資格研修会	2018/12	大阪	10名	10名		
	b)	CxTE 講習（九州）	2018/10～11	未定	5名	30名		
		CxTE 講習（北海道）	2018/10～11	未定	5名	30名		
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2018/4～2019/3	BSCA 事務所他	10名	—		
	d)	Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会（東京・関西・名古屋・九州・北海道）	2019/2	東京	10名	80名		
			2019/3	京都	10名	80名		
			2018/8/10	名古屋	10名	15名		
			2018/10～11	九州	5名	30名		
			2018/10～11	北海道	5名	30名		
	e)	総会付帯講演会	2018/5/28	中央大学 駿河台記念館	10名	60名		
	f)	技術交流会	2018/5/28	中央大学 駿河台記念館	10名	60名		
Cx に関心を持つ者の集い		2018/9/13	愛知県名古屋市	5名	40名			
g)	Cx マニュアル（CD）の頒布	2018/4～2019/3	BSCA 事務所	3名	30名			
(2) 性能検証普及事業	(2) 会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	2,160,000	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。							
	a)	ホームページの整備充実	2018/4～2019/3	事務局	4名	約1000名		
	b)	コミッションングレターの発行	2018/4～2019/3	事務局	30名	約170名		
	c)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2018/9/13～9/15	大同大学	5名	約100名		
d)	企画・運営委員会活動	2018/4～2019/3	BSCA 事務所他	23名	—			
(3) 調査研究・技術支援事業	(3) 性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	0	1,900,000	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、コミッションング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。							
	a)	海外調査・国際交流	2018/4～2019/3	BSCA 事務所他	1名	会員、市民、建築関係者、不特定		
b)	技術委員会活動	2018/4～2019/3	東京	5名	建築関係者			

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）		
						収入	支出	
(4) 基準制定・検証事業	(4) 性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	54,542,480	45,866,250	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。							
	a)	建築設備性能検証マニュアル校正WG	2018/4～2019/3	東京				16名
	b)	Cx 費用ガイドライン検討WG	2017/12～2019/5	東京				12名
	c)	京都駅ビル熱源・空調改修工事新築 Cx 業務（機能性能確認・適正化フェーズⅡ、および2次側空調設備改修設計 Cx）	2017/12～2019/12	BSCA 事務所、京都駅ビル他				14名
	d)	沖縄科学技術大学院大学第1・3研究棟の既存 Cx 業務（調査フェーズ）	今期予定	沖縄科学技術大学院大学				5名
	e)	（仮称）TNK イノベーションセンター新築工事 Cx 業務	2017/10～2018/5	BSCA 事務所、TKN イノベーションセンター				5名
f)	事業委員会活動	2018/4～2019/3	BSCA 事務所他	12名				

(2) その他の事業（営利事業）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	収支額（単位：円）	
						収入	支出
(1) 会誌・ホームページ等への広告掲載	会誌やホームページへの広告の募集を企画	2018/4/1～2019/3/31	事務局	2名	会員、市民、建築関係者、不特定	100,000	50,000
(2) 出版事業	出版物の発刊を企画	2018/4/1～2019/3/31	事務局	1名	会員、市民、建築関係者、不特定	200,000	100,000

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

- ・ 12月中旬にCxPE（性能検証技術者）の資格研修会を大阪にて開催するが、応募者が少数の場合は次年度へ延期する。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（九州・北海道）

- ・ 第7回目となるCxTE（性能検証専門技術者）講習会は、九州・北海道での開催を検討する。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

- ・ CxPE（性能検証技術者）の資格研修会後に採点会議とCxPE資格研修小委員会および資格判定委員会を開催して、CxPE登録有資格者の判定を実施する。

d) Cx事例シンポジウム・Cx研究会の開催（東京・関西・名古屋・九州・北海道）

CxPE資格者、CxTE登録者が行ったCx事例を紹介するCx事例紹介シンポジウムを東京・関西・名古屋において開催する。また、九州・北海道ではCxTE講習に合わせたシンポジウムの開催を目指す。

e) 総会付帯行事を兼ねた講演会（2018年5月 東京）

中央大学駿河台記念館における通常総会時に講演会を実施する。講演者と演題は、早稲田大学教授 田辺新一氏が「動きだしたゼロ・エネルギービル」、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課 課長補佐 田中宏和氏が「省エネルギー政策とZEBの実証・普及について」である。

f) 「技術交流会」と「Cxに関心を持つ者の集い」

総会後に「技術交流会」を開催する。また、空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッションに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする。

g) Cxマニュアル（CD）の頒布

2016年11月に発行した「建築設備コミッションングマニュアル」の販売を継続する。また原稿の校正を実施する。

(2) 性能検証普及事業

a) ホームページの整備拡充

- ・ 一般閲覧者の増大を目指し、コンテンツの拡充を行う。
- ・ 日英広報ブログの記事を増やし、国際発信を強化する。
- ・ 一般閲覧者と会員との情報提供範囲を区分し、会員メリットが判りやすいしくみを構築する。

b) コミッショニングレターの発行

- ・ コミッショニング関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターの月一回発行を継続する。また、PDF での発行から HTML 書式への移行を検討する。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

- ・ 空気調和・衛生工学会大会の開催期間中に協会の展示ブースを出展して広報活動を継続する。

d) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

- ・ 会員限定の情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討する。

2) CxTE 登録者の促進と CxF の登録の促進

- ・ Cx 事業の事例発表のシンポジウムなどで CxF 登録制度を広く紹介して登録を働きかけ賛助会員の増加を図る。

3) 各種団体へのコミッショニングの普及活動

- ・ CxF（コミッショニング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体にコミッショニング業務を実施する CxF の重要性を理解して貰うこと、CxF 間の意見交換会を開いて課題を整理すること、などの活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建築オーナーに、省エネルギー・省 CO₂ 事業にコミッショニングプロセスが有効であることを説明し、省エネルギー・省 CO₂ 事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。
- ・ コミッショニングに関する調査・研究事業の受託を目指す。
- ・ 国によるコミッショニングの政策課題に関連する調査に協力する。
- ・ 講習会やセミナーを企画して、コミッショニングの普及活動を実施する。
- ・ コミッショニング業務のビジネス展開を推進するため、経産省などと情報交換しながら業務のあり方・技術者の活用方法・技術者への報酬のあり方などについて、引き続き検討する。

(3) 調査研究及び技術支援事業

a) 海外調査

- ・コミッショニングに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。
- ・コミッショニングに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）等）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供する。
- ・海外のコミッショニング組織（NIST、PECI、BCA、APCBC、AGCC など）との連携活動を検討する。
- ・国際エネルギー機構（IEA）のコミッショニングに関する国際研究活動（Annex）との情報交換を図り、必要に応じて協力する。
- ・本年 10 月に開催される全米コミッショニング協会（NCBC）に複数名を派遣し、海外の情報把握と国際交流を図る。

b) 技術委員会活動

- ・ 空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会に新たに設置される小委員会の技術課題に対して、協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。
- ・ 学生や若手研究者の見学会や勉強会（論文等レビューなど）を実施し、次世代の間でコミッショニングに関する情報共有を進める。

(4) 基準の制定及び検証事業

a) 建築設備性能検証マニュアル校正 WG

- ・ 昨年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の校正を実施し、一般流通図書としての冊子販売を検討する。

b) Cx 費用ガイドライン検討 WG

- ・ 昨年度に引き続きコミッショニング業務にかかる費用のガイドラインを策定し、次年度早期の公開を目指す。

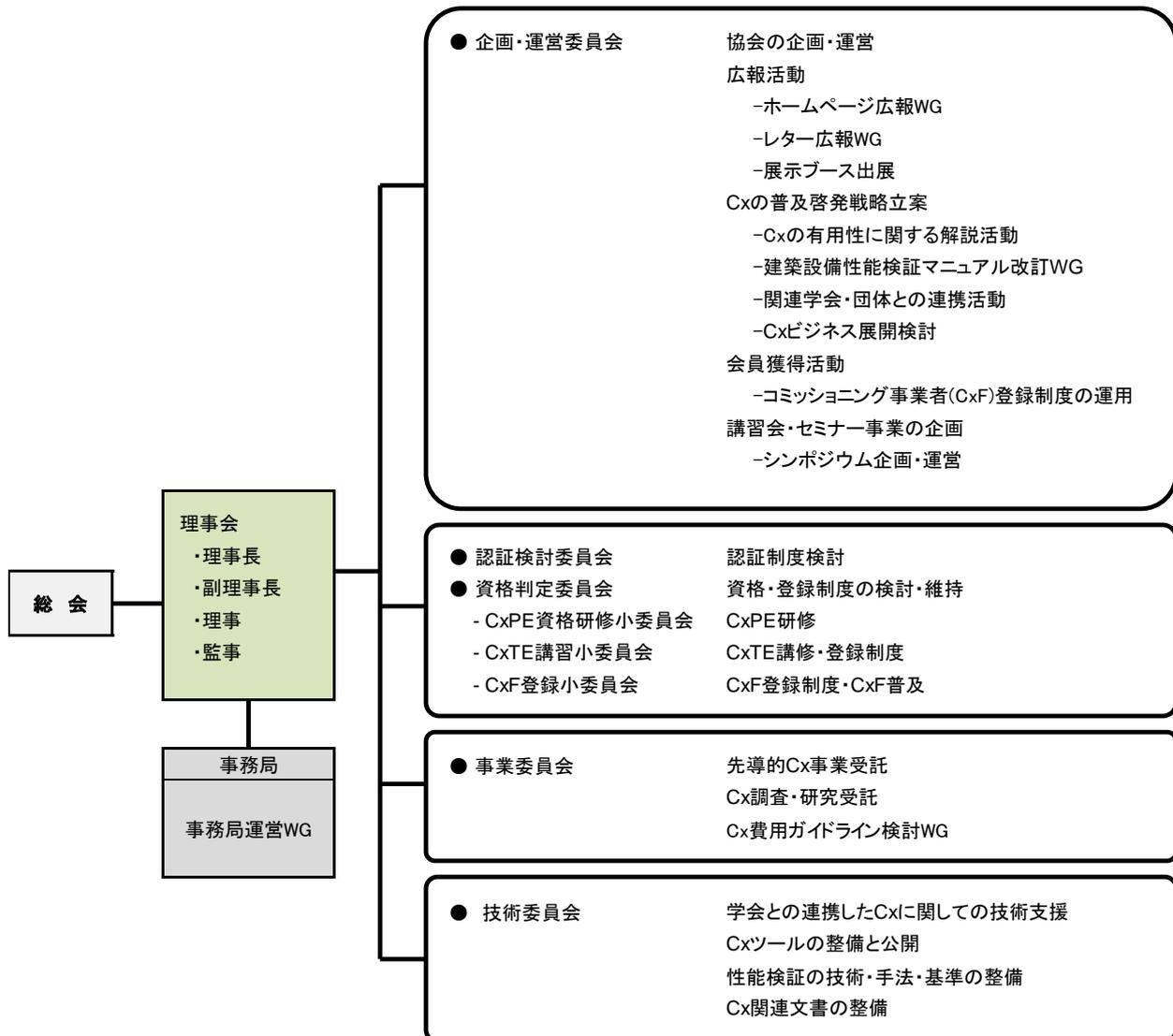
c,d,e) 各種先導的コミッショニング事業の受託

- ・ 当協会特命による先導的コミッショニング業務の受託、並びに調査研究委託業務を引き続き実施し、それらの活動成果やノウハウをコミッショニングに関わる人材育成や実務資料の集成に反映し知的資産とする。
- ・ 上記の先導的コミッショニング受託業務に CxPE や CxTE の参画を募ることで人材育成支援を行い、当協会における先導的コミッショニング事業の受託方法を整備する。

f) 事業委員会活動

- ・ 新たなコミッショニング関連業務の開発に努力する。
- ・ 当協会が受託した先導的 Cx 事業に会員が独立した個人として参画しやすいように、(仮称) エグゼクティブエンジニアを制度化することを検討する。

[組織図]



2018年度 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2018年度 活動予算書

建築設備コミッションング協会

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

科目	2018年度 予算		2017年度 予算		増減額	備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他事業		
I 経常収益						
1 受取会費						
入会金収入	100,000	0	100,000	0	0	
正会員受取会費	2,150,000	0	2,150,000	0	0	
賛助会員受取会費	6,000,000	0	6,000,000	0	0	
小計	8,250,000	0	8,250,000	0	0	
2 受取寄附金						
受取寄附金	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	
3 受取助成金等						
受取民間助成金	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	
4 事業収益						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	640,000	0	640,000	0	0	
CxTE研修会(東京)	0	0	540,000	0	-540,000	
CxTE研修会(北海道)	540,000	0	0	0	540,000	
CxTE研修会(関西)	0	0	352,000	0	-352,000	
CxTE研修会(九州)	352,000	0	0	0	352,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	380,000	0	380,000	0	0	
Cx事例シンポジウム(関西)	390,000	0	390,000	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	10,000	0	30,000	0	-20,000	
Cx事例シンポジウム(四国)	0	0	250,000	0	-250,000	
マニュアルの頒布	200,000	0	200,000	0	0	
技術交流会	150,000	0	150,000	0	0	
Cx 集い	200,000	0	200,000	0	0	
小計	2,862,000	0	3,132,000	0	-270,000	
2. 普及事業	0	0	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	0	0	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx						
京都駅ビルCx事業(機能)	0	0	12,831,000	0	-12,831,000	
京都駅ビルCx事業(機能Ⅱ)	16,925,000	0	10,000,000	0	6,925,000	
京都駅ビルCx事業(二次側)	15,000,000	0	0	0	15,000,000	
沖縄科学技術大学院大学Cx	12,000,000	0	7,500,000	0	4,500,000	
神奈川県立近代美術館	0	0	3,764,880	0	-3,764,880	
TNKテクノロジーセンター	10,617,480	0	0	0	10,617,480	
小計	54,542,480	0	34,095,880	0	20,446,600	
5. その他	0	300,000	0	300,000	0	
小計	57,404,480	300,000	37,227,880	300,000	20,176,600	
5 その他収益						
受取利息	5,000	0	5,000	0	0	
雑収益	10,000	0	10,000	0	0	
小計	15,000	0	15,000	0	0	
経常収益計	65,669,480	300,000	45,492,880	300,000	20,176,600	

科目	2018年度 予算		2017年度 予算		増減額	備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業		
II 経常費用						
1 事業費						
1. 人材育成事業						
CxPE研修会	563,000	0	720,000	0	-157,000	
CxTE研修会(東京)	0	0	760,000	0	-760,000	
CxTE研修会(北海道)	390,000	0	0	0	390,000	
CxTE研修会(関西)	0	0	660,000	0	-660,000	
CxTE研修会(九州)	525,000	0	0	0	525,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	295,000	0	295,000	0	0	
Cx事例シンポジウム(関西)	330,000	0	370,000	0	-40,000	
Cx事例シンポジウム(中部)	4,000	0	22,000	0	-18,000	
Cx事例シンポジウム(四国)	0	0	250,000	0	-250,000	
マニュアルの頒布	30,000	0	30,000	0	0	
総会付帯講演会	60,000	0	25,000	0	35,000	
技術交流会	230,000	0	230,000	0	0	
Cx 集い	200,000	0	200,000	0	0	
認証判定委員会	200,000	0	200,000	0	0	
小計	2,827,000	0	3,762,000	0	-935,000	
2. 普及事業					0	
ホームページ	1,320,000	0	2,090,000	0	-770,000	
コミッションングレターの発行	200,000	0	200,000	0	0	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	180,000	0	180,000	0	0	
CxF登録制度小委員会	100,000	0	100,000	0	0	
企画・運営委員会及び広報担当	360,000	0	310,000	0	50,000	
小計	2,160,000	0	2,880,000	0	-720,000	
3. 研究・支援事業					0	
海外調査	1,500,000	0	105,000	0	1,395,000	
技術委員会	400,000	0	200,000	0	200,000	
小計	1,900,000	0	305,000	0	1,595,000	
4. 基準制定事業						
京都駅ビルCx						
京都駅ビルCx事業(機能)	0	0	11,431,000	0	-11,431,000	
京都駅ビルCx事業(機能Ⅱ)	14,386,250	0	9,020,000	0	5,366,250	
京都駅ビルCx事業(二次側)	12,750,000	0	0	0	12,750,000	
沖縄科学技術大学院大学Cx	10,200,000	0	6,375,000	0	3,825,000	
神奈川県立近代美術館	0	0	3,046,000	0	-3,046,000	
TNKテクノロジーセンター	7,080,000	0	0	0	7,080,000	
事業委員会	50,000	0	50,000	0	0	
Cx費用ガイドライン検討WG	600,000	0	0	0	600,000	
マニュアル校正	800,000	0	800,000	0	0	
小計	45,866,250	0	30,722,000	0	15,144,250	
5. その他	100,000	150,000	100,000	150,000	0	
事業費計	52,853,250	150,000	37,769,000	150,000	15,084,250	

科目	2018年度 予算		2017年度 予算		増減額	備考欄
	特定非営利活動	その他事業	特定非営利活動事業	その他の事業		
2 管理費						
旅費交通費	240,000	0	240,000	0	0	
通信運搬費	182,000	0	182,000	0	0	
消耗品費	260,000	0	260,000	0	0	
什器備品	200,000	0	0	0	200,000	
会議費	254,500	0	254,500	0	0	
印刷製本費	100,000	0	70,000	0	30,000	
租税公課	440,000	0	440,000	0	0	
支払手数料	70,000	0	70,000	0	0	
雑給	5,000	0	0	0	5,000	
諸会費	200,000	0	200,000	0	0	
家賃	400,000	0	400,000	0	0	
修繕費	0	0	0	0	0	
予備費	0	0	0	0	0	
支払報酬	420,000	0	420,000	0	0	
事務外注費	3,888,000	0	3,888,000	0	0	
事務管理費	300,000	0	0	0	300,000	
減価償却費	330,000	0	355,000	0	-25,000	
管理費計	7,289,500	0	6,779,500	0	510,000	
経常費用計	60,142,750	150,000	44,548,500	150,000	15,594,250	
I, II 当期経常増減額	5,526,730	150,000	944,380	150,000	4,582,350	
III 経常外収益						
1 固定資産売却益	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	
IV 経常外費用						
1 過年度損益修正損	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額		5,676,730		1,094,380	4,582,350	
法人税、住民税及び事業税		71,000		71,000	0	
当期正味財産増減額		5,605,730		1,023,380	4,582,350	
前期繰越正味財産額		41,246,210		41,246,210	0	
次期繰越正味財産額		46,851,940		42,269,590	4,582,350	

第3号議案「役員の改選に関する事項」

1. 理事再任に関する事項

再任理事 赤司泰義君

再任理事 岡本利之君

再任理事 高瀬知章君

再任理事 松下直幹君

再任理事 柳原隆司君

再任理事 山羽 基君

再任理事 吉田治典君

以上、7名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の理事に再任する。

2. 理事の新任に関する事項

新任理事 伊藤英明君

新任理事 大石晶彦君

新任理事 上谷勝洋君

新任理事 澤地孝男君

新任理事 田井公浩君

以上、5名

推薦の理由 特定非営利活動法人建築設備コミッショニング協会理事会よりの推薦

伊藤英明君の略歴

昭和45年4月2日生、 現職 日本ファシリティ・ソリューション株式会社
O&M本部 O&M企画管理部長

大石晶彦君の略歴

昭和38年7月29日生、 現職 株式会社大林組 設計本部 設備設計部 部長

上谷勝洋君の略歴

昭和39年8月12日生、 現職 東洋熱工業株式会社 技術統轄本部 副本部長

澤地孝男君の略歴

昭和32年11月14日生、 現職 国立研究開発法人建築研究所 理事

田井公浩君の略歴

昭和39年10月1日生、 現職 関西電力株式会社 お客さま本部 副本部長

3. 監事再任に関する事項

再任監事 高草 智君

再任監事 高橋直樹君

以上2名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の監事に再任する。

第4号議案「定款の変更に関する事項」

1. 定款の変更に関する事項

定款変更後	定款変更前
第9章 公告の方法 (公告の方法) 第54条 この法人の公告は、この法人の掲示場に 掲示するとともに、官報に掲載して行う。 <u>ただし、 法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公 告については、この法人のホームページに掲載し て行う。</u>	第9章 公告の方法 (公告の方法) 第54条 この法人の公告は、この法人の掲示場に 掲示するとともに、官報に掲載して行う。

理由:特定非営利活動促進法(NPO法)改正により貸借対照表の公告義務化に伴い変更する。

定款変更後	定款変更前
(除名) 第11条 会員が次の各号の一に該当するに至っ たときは、 <u>理事会</u> の議決により、これを除 名することができる。この場合、その会員に対し、 議決の前に弁明の機会を与えなければならない。 (ア) この定款に違反したとき。 (イ) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する 行為をしたとき。	(除名) 第11条 会員が次の各号の一に該当するに至っ たときは、 <u>総会</u> の議決により、これを除 名することができる。この場合、その会員に対し、 議決の前に弁明の機会を与えなければならない。 (ア) この定款に違反したとき。 (イ) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する 行為をしたとき。
第22条 総会は、以下の事項について議決する。 (1) 定款の変更 (2) 解散 (3) 合併 (4) 事業報告及び決算 (5) 役員を選任又は解任、報酬 (6) 入会金及び会費の額 (7) 借入金(その事業年度内の収益をもって償 還する短期借入金を除く。第49条において同じ) その他新たな義務の負担及び権利の放棄 (8) その他運営に関する重要事項	第22条 総会は、以下の事項について議決する。 (1) 定款の変更 (2) 解散 (3) 合併 (4) 事業報告及び決算 (5) 役員を選任又は解任、報酬 (6) <u>会員の除名</u> (7) 入会金及び会費の額 (8) 借入金(その事業年度内の収益をもって償 還する短期借入金を除く。第49条において同じ) その他新たな義務の負担及び権利の放棄 (9) その他運営に関する重要事項

変更理由 理事会は年1回開催であるので迅速に対応するため理事会決議事項とする。

BS&A 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>